

全 宗 協

Z E N S H U K Y O

創設の準備着々！ 「ニューリーダー部（仮称）」 通常総会後に創立総会を開催 三月末会員六十九名。現在も登録受付中

新しく創設される「ニューリーダー部（仮称）」の設立に向けた準備は着々進み、今年五月二十二日の金沢市での通常総会時にも打合せが開かれる運びとなった。入会者は三月末時点で六十九名になっており、業界に「新しい風」との期待が高まっているニューリーダー部は、いよいよ誕生することとなった。

鎌倉市で二月十四日に開かれた理事会で、理事全員から創設が承認され、さらに組合本部から顧問数名を送ることも決まった。また活動費を組合本部から助成することも決定されている。同時に設立準備委員会委員長に吉田光宏氏（京都市の（株）吉田治市商店専務取締役）も決まった。

新しい部はどのような名称とするかなどは、設立準備委員会で煮詰められることになるが、今のところ名称は「ニューリーダー部」に落ち着くのではないかとみられている。設立準備委員会では、三月二十七日に第一回委員会を開き、今後の進め方や新部の活動などを話し合い、その結果、四月中に入会者へのアンケート調査、五月九日に第二回委員会、さらに五月二十二日の金沢市での通常総会時にも打合せを開き、その後に創立総会、そして第一回総会を開くスケジュールとなった。



準備委員会委員長に選出された吉田光宏氏

鎌倉での春の全国研修会と併せて開かれた準備会に参加した人たち



の検討が本格化した。昨年十月十八日の全体討議では、参加者からは「青年部」と女性部に分けることはせず一つの組織とし、名称は別途考える」などの条件が付けられた。会員の登録は随時受け付けており、八十名程度でスタートすることが期待されている。

金沢市で五月二十二日に第二十回通常総会

全宗協創立二十周年記念式典も併せて開催
作家の五木寛之氏が記念の講演

第二十回通常総会が五月二十二日（火）、金沢市の「ホテル日航金沢」で開かれる。通常総会では組合創立二十周年記念式典も併せて行われ、作家の五木寛之氏が記念講演する。

総会が開かれる「ホテル日航金沢」



その後、五木寛之氏の講演がある。終わって創立二十周年記念式典となる。式典では、来賓祝辞、記念品贈呈（組合員の章）などがあり、その後懇親会が開かれる。翌二十三日は、総持寺や輪島、能登島などをめぐるオプショナルツアーとゴルフコンペが行われる。

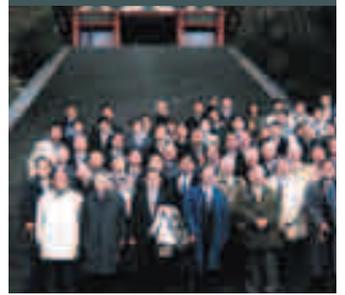
全宗協は平成十九年度が創立二十周年に当たる。大きな節目を迎えたわけである。北越の地・金沢から「新たな出発」を誓うことになる。

長らく懸案だった新しい部の創設は、平成十七年四月に全宗協政策提言委員会が同様の主旨を安田理事長に答申した。この提言を機に具体化へ

午前十一時三十分から役員会があり、総会は午後一時から開かれ、平成十八年度事業報告、平成十九年度事業計画（案）などが議題に付される。

金沢市での通常総会は初めてである。かつての加賀百万石の城下町の古都・金沢から、全国に向け「全宗協の旗印」を高く掲げるものともなる。

全国研修会



鶴岡八幡宮で記念の1枚

春の全国研修会は二月十四日に鎌倉で開かれ、鶴岡八幡宮の直会殿二階を会場に開かれ、約七十人が参加した。

研修会に先立ち、役員会とニューリーダー部(仮称)設立準備会が開かれた。役員会では「こんな仏壇あったらいいなコンテスト」や今年の第四回仏事コーディネーター試験、「百

万人の消費者と対話しよう」のスローガン、「お仏壇俳句コンテスト」などについて話し合われた。ニューリーダー設立準備会では準備委員会委員長に吉田光宏氏を選出した。

「こんな仏壇あったらいいなコンテスト」は、平成二十年二月十三日と十四日に東京国際フォーラムで開かれ、このコンテスト期間中の十三日には春の全国研修会も併せて開かれる。

役員会などのあと研修会となり、八幡宮内や建長寺を見学した。八幡宮本殿では安田理事長が代表して玉串を奉奠した。

「仏事コーディネーター」の名称とマーク商標登録を特許庁に申請しました

「仏事コーディネーター資格制度」を消費者にさらに浸透させよう——全宗協では、資格制度を消費者に熟知してもらう意味

も込み、昨年12月1日に「名称」と「マーク」の商標登録を特許庁に申請しました。

名称は「仏事コーディネーター」、マークは写真の通りです。登録が認められるのには1年ほどの期間が必要。年内か年明け早々にも名称とマークが誕生しそうです。



特許庁に申請したマーク

わが社の イチオシ 新商品紹介

知恵とアイデアを絞ったわが社の“イチオシ商品”をご覧ください。お問い合わせは直接当社にお寄せ下さい。お待ちしております。直ちにお応えします。数字は参考上代です。

なお、今回は西日本地区の小売業104社の方々へ呼びかけました。次回は別の業態のお店にお声をかけます。

●『納骨用仏壇』

鹿児島県川辺郡川辺町平山3026
株中堂蘭仏壇店
電話 0993-56-1001



紅松などを材にして、漆と金箔で仕上げています。特に漆と金箔には伝統にこだわって力を入れました。漆は本漆塗、金箔は純金箔(伝統箔押)です。

デザインは、お寺様のお話を聞きながら考えました。お仏壇の灯りは扉を明けますと自動的にともります。閉めるとこれも自動的に消えるという「自動点滅式」です。これまでに多くのお寺様などに納めさせていただいています。

大きさは幅50cm、高さ65cm、奥行80cm。濃淡が鮮明で、心が落ち着く雰囲気を持っており、お骨をお納めするお仏壇としては最適です。価格は税込み255,000円。

●全宗派 壁掛け仏壇『玉』

滋賀県彦根市芹中町40 (株)永楽屋
電話 0749-22-1466



この壁掛け仏壇『玉』は、当社で「あったらいいなこんなお仏壇」というテーマでお仏壇のアイデアを募集し、製作いたしました。マンションや洋房のご家庭にも合う新しいお仏壇です。

円の丸みは何ともいえず柔らかさをかもし出しています。円の縁には金箔を押し、壁面には蒔絵を施すことで上品に仕上げました。

幅608cm、高さ60cm、奥行28cmです。価格は税込み472,500円。

そよ風

私にとってのお仏壇

大阪市城東区蒲生 (株)村上佛壇代表取締役社長 村上 幸代さん



村上幸代さん

女性が社会に出て行く時代と言われている昨今、この仏壇業界でも特に女性スタッフをよく見かけます。先日、知人のお葬式に参列した際、ホールのスタッフ、お寺様、送迎バスの運転手さんに至るまで女性だったのにはさすがに驚きました。

女性が進出や核家族化で、子供が「たたいまー」って帰ってきて、学校であった色々な出来事をすぐに聞いてもらいたくても、家に誰もいない家庭が多くなったこの時代だからこそ、そういう心の拠り所が大切なななと思います。

私の場合、現在実家の仏壇店を継いでいますが、ただただ思うのは、共働きや自営業の家庭は女性が大変！結局、家事も女性が丸ごと抱える始末なので……。それに加えて我が家の場合、もうあと何年かすれば「介護」という仕事が増えてくる

今はお仏壇は厄介なものとして置かない家庭も増えてきていますが、そういう堅苦しい考え方を抜きにして、お仏壇を「心のふるさと」として伝えていければと思います。

今年の「仏事コーディネーター」試験

11月14日に東京と大阪で実施の予定
これまでに1,094人が資格を取得

今年の「仏事コーディネーター」試験は、11月14日（水）実施の方向で準備が進められている。

平成16年に第1回の試験が行われて以来、今年の試験は4回目となる。昨年と同じく東京と大阪で同時に実施される（会場は未定）。受験資格は、これも昨年と同じく全宗協組合員の事業所の従事者となっている。

これまで行われた3回の試験では、合わせて1,094人が合格（平成16年612人、平成17年332人、平成18年160人）し、資格を手に入れている。

受験の申込みは、金沢市で5月22日に開かれる第20回通常総会から受付けを開始する。

●『「じょうど26号」

本願寺派三方開本漆手塗り脇箱付

佐賀県伊万里市新天町462-6 街白川仏具店
電話 0955-23-5345

三方開きの本漆手塗り、脇箱付の重厚な仕上がりとなっています。

欄間は雲に天彫り、大柱、中柱付。金具は透かし鍍厚物仕立て。部分には金の上に銀のワンポイントをほどこしています。

中段引き違い戸には、水仙に鶯鳥、又は立体感を出すために全面には岩を彫り上げ箔仕上げをしております。

高さ177cm、幅97cm、奥行き76cm。税込み4,400,000円。



●『健香ウコン(お線香)』

兵庫県姫路市南畝町2-31
浜屋(株)
電話 079-288-2211



お酒を飲む時にウコンを摂取しますと、お酒を飲まない時に比べて血中アルコール度が低く抑えられ、頭痛や吐き気も起こりにくくなります。

ウコンの成分のクルクミンが有害物質の毒性を抑えるからで、今、ウコンの威力は大変に注目されています。

『健香ウコン』は、漢方薬としても使われるウコンと白檀を配合したお線香です。

清涼感があり、そしてスパイシーな香り。黄金色に輝く浜屋ならではのオリジナル高級お線香です。

落ち着いた香りでも、心と体をリフレッシュしませんか。価格は税別で2,450円。

●『絵はがき付きお香「幽石香」』

福岡県北九州市小倉北区魚町2-2-11 株野上神仏具店
電話093-521-1005



お香に付いている絵はがきは、『達者でくらせよ』『あしたはお天気』などの著書がある御木幽石(みきゆうせき)氏のオリジナル絵はがきです。御木氏は書家・和体書デザイナーとして知られ、「癒しの心」を提供し続けています。

絵はがきには、かわいのお地蔵様の絵が描かれています。この『幽石香』には「和楽(わらく)」(価格は税込み1,260円)、「花晨(かしん)」(1,050円)、「慈(いつくしみ)」(1,050円)、「洗心(せんしん)」(1,785円)の4種類があります。

絵はがきと香りをミックスしたバックは、ご贈答品や返礼品に最適です。

私は戦後すぐの昭和二十一年に佐世保で生まれました。子供時分の当地は重工業も盛んで、おまけに米軍の駐留もあって昼も夜もなくにぎやかな街でした。

その頃の私はというと、小児ぜんそくがひどく、幼稚園、小学校にも満足に通えず、祖父のいる佐賀県伊万里へ一年間転地療養(畑や山林で遊んでいました)しました。二年間は伊万里小学校に通いました。

体調も回復し、佐世保の実家に戻り、明治十年から続いている店の手伝をしておりました。

遊ぶ方は、海や川での釣りや素もぐり等です。六十歳になった現在でもそれを趣味として楽しんでおります(今は体力がありませんが……)。

高校に入り車の免許も取り、本格的な手伝いに入りました。遠くは島原とか福岡ま

ひろば

私の生い立ち

佐賀県伊万里市新天町
(有)白川仏具店代表取締役社長

白川十郎



白川十郎氏

で配達に回り、帰ったら帰ったで仕事場に入り、職人さんの手伝いや組立作業に従事し、朝六時から深夜の一時まで働き、一方では祖母の身の回りの世話をしております。今思うと、体力と根性で乗り切り、ネバリ強い自分が出来つつあったと……。

の食い方とか、洗濯板でのゴシゴシの仕方、授業の単位の取り方を教わりました。

体育の授業では、数ある種目の中、スキーに興味を持ち選びました。「好きこそもの上手なれ」といいますが、段々上達し、面白くて、高速道路のない時代、毎週鳥取県大山に通い、ついに一級を取得しました。

危険な目に何度も遭いましたが、そこは若さの特権と情熱で一人前になったと思います。遊びでも仕事でも通

大学は、北九州の製鉄の町八幡で鉄の匂いやスモッグの中で四年間過ごしました。一方、生活の面は楽しく、この頃の思い出が今だに一番です。特に二年間の寮生活が充実していたように思います。素晴らしい仲間や諸先輩にも恵まれ、腹の空かない飯

じると思いますが、熱心に向き合えば、それなりの仲間と素晴らしい師にも出会えると思います。卒業後、四五年間は大学へスキーの指導にも出掛けていました。スキー歴は四十年余になりますが、今でも毎年北海道のゲレンデで七人の仲間と滑っており、夜は飲

む方で満喫しています。

夏は、海遊びで、スキューバダイビング(今は体力がありません)、小型帆船一級免許取得と今も続いています。

お陰様で楽しい思い出ばかりですが、車の事故にはまいっています。これまで三回大きな事故に遭い、一回目は高二のときのわき見運転による川底転落。二回目は、信号待ちのところにノーブレーキで突っ込まれました(今でもムチ打ちの後遺症がある)。三回目は、四年前に、飲酒運転の車が目の前に突如！そして正面衝突、車は大破。なぜか自動車事故に妙に縁があるみたいです。

家業の方は、お陰様で長男が日本伝統工芸専門学校を卒業後、三重県(株)ぬし与仏壇店で修業し、現在、私と一緒に伊万里の地で、代々受け継がれた技術を伝承していきたくと思っています。

悲願の「三百七十名必達」まで、あと一歩

組合員、三月末時点で三百四十九名に増強 沖縄県那覇市からも初めて加入

組合への新規加入が増え続けている。四月一日時点で三百五十名となり、組合が悲願としている「三百七十名必達」まで、あと一歩に迫った。

全宗協の組合員数は、全宗協が発足した当初は三百七十名を数えていた。しかし、その後減少傾向をたどり、一時は二百七十名まで落ち込み、組合員増強は組合の大きな課題として浮上した。

組合員増強は組合の大きな課題として浮上した。

会員増強委員会(保志正之委員長)では、創立時の「三百七十名必達」を旗印にか

かげ、加入運動を強く進めてきた。その結果、昨年からは増強に転じ、三百五十名まで復活した。

今年になって沖縄県那覇市からも新規加入があった。沖縄県からの加入は初めてである。

アップしてもらおう。その後、十五名の会員増強委員で

個々に当たる」との新しい方策を決めた。この新方策に沿って増強運動に一段と力を入れており、本年中には「三百七十名必達」を何とかも実現したいとしている。

今年になって沖縄県那覇市からも新規加入があった。沖縄県からの加入は初めてである。

新規加入 (4月1日付)

町田 守 (株)やまと 茨城県常陸太田市栄町3325 - 1
照屋林山 照屋漆器店 沖縄県那覇市樋川1 - 7 - 3
井上幸治 (株)井上仏具 名古屋市中区松原3 - 14 - 26

事務局からのお知らせ

●ホームページ立ち上げとリンク貼りのお手伝いをいたします

昨年に引き続き、全宗協ホームページの「加盟店紹介」お店紹介ページ制作を承ります。希望される方は、事務局までご連絡ください。

ご負担額は1ページ当たり10,000円(税別)です。お店紹介ページの内容は①企業名②企業紹介文③画像(店舗外観や商品、店内の写真など2枚まで)④主な取扱商品⑤営業時間、定休日⑥住所、電話番号、FAX番号⑦メールアドレスなど。

●「国産仏壇」表示タグをつけましょう

全宗協では、平成14年度から「実施規約」に基づく表示制度を導入しています。現在、1枚10円、100枚単位で頒布中(送料別)です。ご希望の方は事務局までFAXでお申込みください。

無料法律相談

森顧問弁護士が組合員からの電話あるいはFAXによる無料法律相談に応じます。ご希望の方は下記へ直接ご連絡ください。

森・吉村法律事務所

弁護士 森 恕 (はかる)
〒541-0043
大阪市中央区高麗橋1-5-14
メゾンドール高麗橋605
TEL 06-6222-3700
FAX 06-6232-0200



訃報

地区	ご逝去	組合員名	ご逝去日	享年
北越地区	ご本人 秀恭様	(株)秀正堂 中島秀恭	2月5日	82歳
東海地区	ご母堂ちせ子様	(株)すみの江工芸 馬場一成	3月3日	91歳

編集後記

▽苦情の絶えない執拗な「お悔やみ訪問」——この問題で全宗協が前号の会報誌上で「業界の品位にかかりません。自粛を！」と呼びかけたのに対し、各方面から反響が寄せられた。この問題は仏壇仏具業界にとどまらず、それだけ「深刻な影」を落としているということなのであろう。

▽ある石材関係の出版社は、安田理事長に文書で取材を申し込んできた。それによると、墓石業界でも同じ問題を抱えており、一つの課題になっているということだ。お悔やみ訪問自粛呼びかけに至った経緯、現状、全宗協の最近の取り組みなどを知りたいということであったとそう。

▽この問題は、新しく創設されることになった「ニューリーダー部(仮称)」でも、一つの課題となるのではないだろうか。ニューリーダー部に対する期待は、業界内で日毎に大きくなっていく。新しい発想の人たちが「業界正常化」のためにも、取り組んでもらいたいと思う。

▽さて、そのニューリーダー部だが、三月末時点での加入者は六十九名となり、まずまずの「出足」といえる。全宗協に新しい風を——それは業界の誰もが抱く願いだらう。そのためには、先ずは静かにスタートまでを見守っていただくことも必要であらうと思う。

訂正とお詫び

前号の会報にミスがありました。委員会名簿の中で、会員増強委員会委員の一人を「木保実」としましたが、「本保実」の誤りでした。また総務委員会委員に濱島賢祐氏が加わることを掲載しませんでした。お二方および関係者の皆様には大変失礼しました。訂正とともに深くお詫びをいたします。